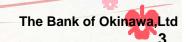


沖縄県の環境

PEOPLE'S BANK

⑩沖縄銀行





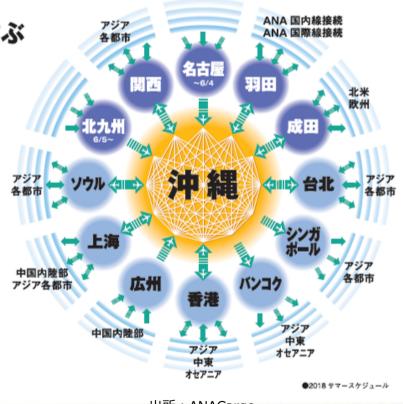
沖縄県の地理的優位性

アジア主要都市の多くが4時間圏内にあり、東アジアの中心に位置する。

--- 沖縄ハブの深夜貨物便ネットワーク

那覇空港を起点に 日本とアジアの主要都市を結ぶ 貨物便ネットワーク

- 貨物専用機 (B767-F)を アジア主要都市へ深夜運航
- ② 羽田経由で日本国内の 主要都市への接続もスピーディ
- ❸ 国内21の直行旅客便路線あり
- アジア域内間の 急送ニーズにも対応可能







沖縄成長産業戦略~アジアゲートウェイとして発展~

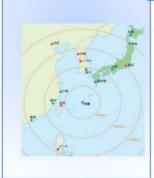
沖縄成長産業戦略~アジアゲートウェイとして発展~

- ■日本再興戦略及び全国知事会の緊急決議を踏まえ、九州・沖縄地域で の成長戦略を検討するため、九州・沖縄地方産業競争力協議会が設置。
- ■沖縄における成長戦略、沖縄と九州との連携方策を検討するため同協 議会の下に沖縄分科会を設置。
- ■沖縄の地の利を活かしアジアの各都市と本土を結ぶ国際航空貨物ハブ 事業が平成21年から開始。沖縄が新興国向けの産業立地の好適地。
- ■世界最高レベルの研究教育機関(OIST)が開学。創薬系ベンチャー企業 やIT企業が進出・集積。
 - ■魅力的な地域資源(環境、農産物、文化芸能)が豊富。

沖縄のポテンシャル 「地の利」

~東アジアの中心~

●那覇から1,500キロ圏内(飛 行機で4時間圏内)に東京、 ソウル、香港、上海、台北、 マーラ等の主要都市



基本コンセプト

沖縄をヒト・モノ・カネ・情報の交易・交流拠点 「アジアゲートウェイ」へ

国際物流ハブ関連産業

~全国の物産を沖縄に集約しアジアに展開~

- ●沖縄大交易会をはじめとする国際見本 市・商談会の拡充及び差別化
- ●他地域との連携強化
- 沖縄型臨空・臨港産業の集積
- 物流拠点機能強化に向けたインフラの





健康・バイオ・スポーツ・ ICT産業

~沖縄を内外の先端的な情報・技術の交流拠点へ~

- ●内外の先端的な研究者・企業の集積によ る知的基盤の強化
- スポーツ関連産業の創出と高付加価値化
- ●loT/ビッグデータの利活用
- 島嶼型環境ビジネス・再生可能エネル ギー開発・省エネルギー施策の推進等





地域資源活用産業

~沖縄の多様な生物資源、観光資源等を活用し、アジア市場も見据えた新産業を創出~

- ●観光の高付加価値化
- ●沖縄産農林水産物・食品の供給力拡大と高付加価値化
- ・感性・文化産業の世界に向けての発信



「知の基盤」

- ~人を呼び込み人を育てる研究教育機関~
- 沖縄科学技術大学院大学 (OIST)

沖縄のポテンシャル

- →世界最高レベルの学際的・国 際的研究•教育
- おきなわクリニカルシミュ レーションセンター
- 最先端医療人材育成施設



沖縄のボテンシャル 「地域資源」

- ~ 亜熱帯性気候、島嶼が生み出した多様性~
- 青い空と海、マングローブ林 等の自然・景観
- ●音楽、エイサー、組踊などの 伝統芸能·文化
- ●長命草、ウコン、クワンソウ 二ガナなどの特徴ある島野菜





重点戦略産業を支える人材の育成

◆世界水準のグローバルビジネス人材

◆横断的な産業分野間の連携により 新ビジネスを創造する人材

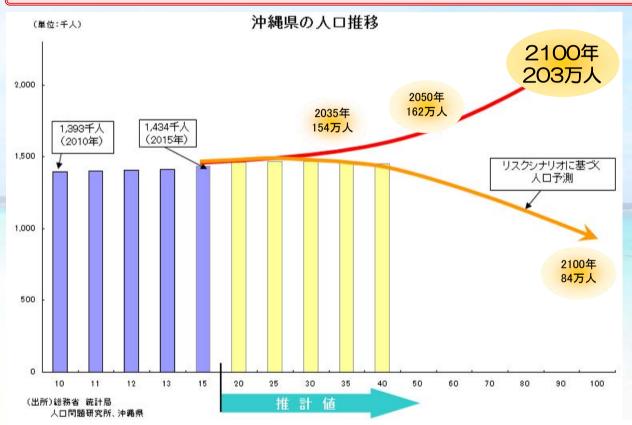
◆高度な技術スキルを有する人材



出所:九州·沖縄地方産業競争力協議会沖縄分科会報告書

沖縄の人口(将来展望)

2030年以降減少に転じることが予想される 増加基調にある現段階から積極的な人口増加施策を展開



【将来人口の推計:国立社会保障・人口問題研究所】

	単位:	八千	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
	沖	縄	1,434	1,460	1,468	1,470	1,466	1,452
Į	全	国	127,095	125,325	122,544	119,125	115,216	110,919

自然増拡大の取組み

安心して結婚・出産・子育てができる社会

- □ 待機児童の解消
- □ 健康長寿おきなわの推進

社会増拡大の取組み

社会に開かれた活力ある社会

- □雇用創出と多様な人材確保
- □ 交流人口の拡大

離島・過疎地域の振興に 関する取組み

バランスのとれた持続的な人口増加社会

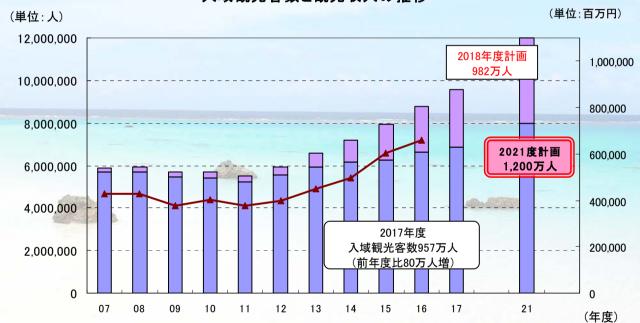
- □定住条件の整備
- □ 特色を活かした産業振興

観光客数の推移

2017年度は過去最高の入域観光客数957万人 外国人観光客は269万人(前年度比+26.4%)過去最高更新

2021年度計画 1,000万人⇒1,200万人 上方修正









(出所)沖縄県「観光要覧」

国内客(左軸)

■ 外国人客(左軸)

→ 観光収入(右軸)

2017年 クルーズ船寄港回数515回 2018年 寄港予定回数662回 (+29%)



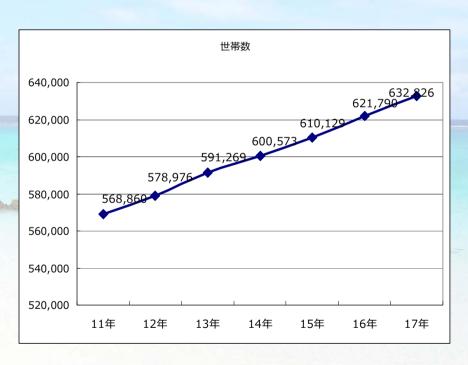
沖縄県の住宅市場動向

- ・県内の住宅市場は活況が続いている
- ・2015年国勢調査で人口・世帯数ともに増加率で全国トップ

沖縄県住宅着工戸数(利用者関係別)の推移

20.000 18.000 ■持家 ■貸家 ■給与住宅 ■分譲住宅 1.829 2.258 16.000 1.933 2.077 1.339 41 25 14.000 944 85 12,000 1,381 10,000 10.772 11,135 11,263 10.914 8,000 8.253 7,469 6.000 4,000 2.000 3,976 3.431 3,148 3,170 2.773 3,103 3,018 0 11年 12年 13年 14年 15年 16年 17年

沖縄県の総世帯数の推移

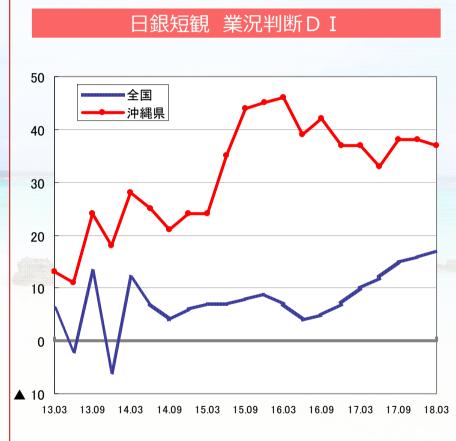


出所:沖縄県 企画部統計課



県内の経済動向1

日銀短観



概況

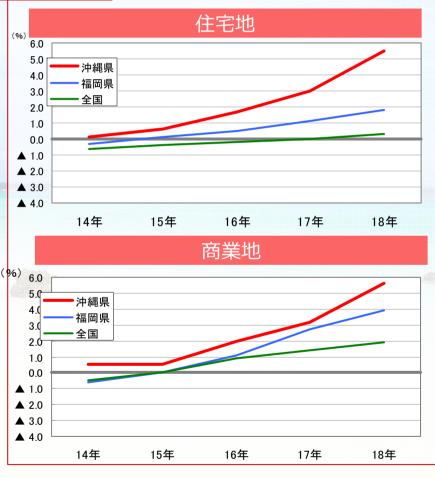
- ◆県内景気は、**全体として拡大**している。
- ◆個人消費をみると、県内人口の増加、観光需要、県内の雇用・所得環境の改善を 背景に、堅調に推移している。
- ◆**観光**をみると、国内客需要が堅調である ほか、外国客需要も増加していることから、 好調に推移している。
- ◆**建設関連**をみると、公共投資は底堅く推移している。また、住宅投資は県内人口の増加等を背景に高水準で推移している。
- ◆雇用・所得情勢をみると、一段と改善している。



出所:日本銀行 那覇支店

県内の経済動向 2

地価公示



概況

- ◆ 住宅地の県平均は、昨年の+3.0%から +5.5%となり、引き続き上昇基調にある。 人口の増加を背景に、戸建住宅地・マンション素地ともに総じて需要が引き続き堅調である。特に新都心地区やその新都心地区に隣接する真嘉比地区など土地区画整理事業地の土地は利便性が高く、環境条件が良好であるため、非常に人気が高く、空地が少なくなっているため、希少性が出ている
- ◆ **商業地の県平均は、昨年の+3.2%から** +5.6%となり、引き続き上昇基調にある。 新規ホテルがオープンしていることや新規再開 発などもみられ、那覇市中心市街地の繁華 性は高く、地価上昇の要因

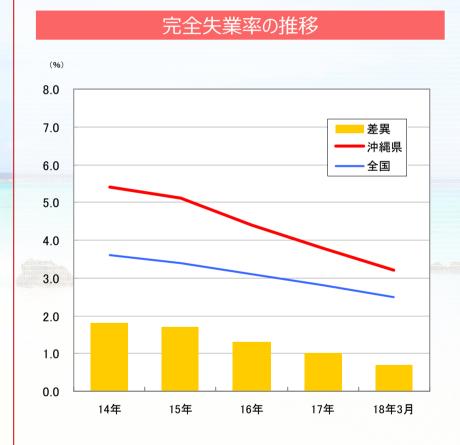
出所:国土交通省

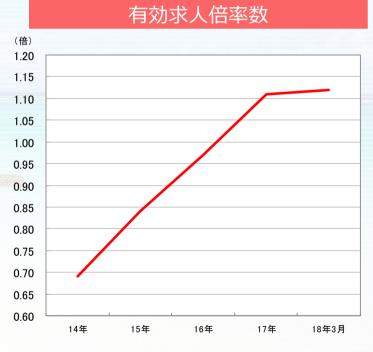
県内の経済動向3

雇用状況

概況

◆かつて全国の2倍程度あった失業率も 全国水準に近づいてきている。







出所:厚生労働省、沖縄労働局